

「中世」ってどんな時代？

な か ず ひ が し は ら い せ き

港湾遺跡「中須東原遺跡」をはじめ、中世の益田の魅力をより多くの人に知っていただくため、連載企画「中世益田講座」を開始します。

古代	中 世							近 世
へいあん じだい 平安時代	かまくら じだい 鎌倉時代			むろまち じだい 室町時代		あづちももやま じだい 安土桃山時代		えど じだい 江戸時代
	南北朝時代			戦国時代				
1086年	1192年	13世紀末	1333年	1338年	1467年	1573年	1590年	1603年
始める 白河上皇が院政を	成立する 鎌倉幕府が	元寇がおこる	鎌倉幕府が滅びる	足利尊氏が 室町幕府を開く	応仁の乱が起こる	織田信長が 室町幕府を滅ぼす	天下を統一する 豊臣秀吉が	徳川家康が 江戸幕府を開く
益田氏が統治した時代								

中世とは、武士が力を持ち始めた平安時代末期から、織田信長や豊臣秀吉が活躍した安土桃山時代の終わりまでの約600年間を指します。平安時代に政治を行っていた貴族の力が衰え、全国各地で武士団や有力な寺院、神社などが力を増しました。また、貨幣が本格的に使われ始め、船を利用した全国規模の交易・流通が盛んになり、ひと・もの・情報が地域や国を超えて活発に往来しました。

源平の戦いや応仁の乱、下克上の戦国時代など「戦の

時代」というイメージのある中世ですが、禅や能、茶道など現在につながる多くの思想や伝統芸能が完成された「文化の時代」でもあります。また、時には民衆が結束して領主を圧倒するなど、自立精神にあふれた「民衆の時代」でもありました。

そうした時代、現在の益田市域を統治したのが石見の武士団「益田氏」です。益田市は益田氏関連遺跡をはじめ、中世の文化財や古文書などがまとまって残る、全国でも唯一の地域と多くの専門家に評価されています。